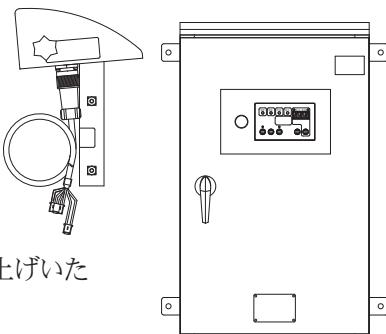


大切な「水」をあなたへ……川本ポンプ

降雪センサーYMS形 雪見窓(ゆきみそう)

制御盤EASN3-G形 取扱説明書



このたびは、制御盤EASN3-G形と降雪センサーYMS形をお買上げいた
だきましたことにありがとうございます。

ご使用前に取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

取扱説明書には危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されており
ます。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保
管してください。

< 目 次 >

[1] はじめに	… … …	2	[7] 結線方法	… … …	12
[2] 仕様	… … …	2	[8] 設定	… … …	14
[3] 製品の構成	… … …	3	[9] 運転	… … …	17
[4] 作動原理	… … …	5	[10] 保守・点検	… … …	21
[5] 据付	… … …	9	[11] 故障	… … …	22
[6] 電気工事	… … …	10			

▲特に注意していただきたいこと

1. お手入れの際は、必ず電源を遮断して電気がきていないことを確認してく
ださい。感電やけがをする恐れがあります。
2. アースを確実に取り付け、電源側に専用の漏電しゃ断器を取り付けてくだ
さい。漏電や感電、火災の原因になります。
3. 電気工事は、「電気設備技術基準」及び「内線規程」に従い専門技術者に
より確実に施工してください。配線、接続に不備があると、故障・漏電・
感電・火災の原因になります。

本文中の関連箇所にも製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や
損害を未然に防止するための注意事項が記載されています。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをす
ると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

▲警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

▲注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

1 はじめに

製品がお手元に届きましたら、下記をお調べください。

1. 御注文通りの製品か、銘板を見てご確認ください。
記号、周波数、所要動力など制御盤E C A S N 3-G形の標準仕様、02仕様、03仕様は、降雪センサーYMS形とセットで動作します。あわせて御注文ください。
2. 輸送中に破損した箇所や、ねじなどのゆるみはないか、確認してください。
3. ご注文の付属品が全てそろっているか、確認してください。
4. 降雪センサーYMSL形をご使用の場合はそちらに付属している取扱説明書も確認してください。
5. 他社製降雪センサーをご使用の場合は、そちらの降雪センサー取扱説明書も確認してください。

[注記]

1. 本製品は、日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
2. 適用範囲外での使用、注意書きなどの不遵守、不当な修理・改造、天災地変に起因するもの、設置環境（電源異常・異物・砂など）によるもの、法令・省令またはそれに準じる基準などに不適合のもの、不慮・故意による故障・損傷のもの、消耗部品の交換、転売による不具合などは保証対象外となる場合があります。
3. 弊社にお問い合わせの際は、『形式』及び『製造番号』をご連絡ください。
4. 不要な部品及び梱包材などの廃棄方法については、各自治体にご確認ください。

〈不具合な点がございましたら、お手数でもご購入先へご照会ください〉

2 仕 様

▲警 告

- 決められた製品仕様以外では使用しないでください。感電・火災、漏水などの原因になります。

▲注 意

- 用途に合った商品をお選びください。不適切な用途で使うと事故の原因になります。
- 危険・警告・注意ラベル類には人身への危害または財産への損害を引き起こす可能性のある事項が記載してありますので必ず遵守ください。守らないと機器が故障したり感電、火災、けがなどの原因になります。

2. 1 制御盤E C A S N 3-G形仕様

電源	電圧	三相 200V	
	周波数	50/60Hz	
モータ保護装置		3E リレー (過負荷、反相、欠相)	
適用ポンプ		深井戸水中ポンプ US 形	
		水中タービンポンプ KUR 形	
	ECASN3-※G	屋外壁掛型	周囲温度:
	ECASN3-※G-01	屋外壁掛型	-10°C ~ 40°C
設置条件	ECASN3-※G-02	屋外自立型	湿度: 90% RH
	ECASN3-※G-03	屋外壁掛型	

※出力/周波数

<仕様>

形 式	運転モード	内 容
ECASN3-※G	標準仕様	-
ECASN3-※G-01	-	降雪センサー制御部取付スペース付
ECASN3-※G-02	標準仕様	屋外自立ポール設置型
ECASN3-※G-03	消雪専用	-

※出力/周波数

2. 2 降雪センサーYMS形仕様

形 式	YMS※-5	YMS※
温度センサー	気温計測	
光電センサー	雪片カウント	
センサー用ヒータ	保温用ヒータ内蔵	
付属ケーブル	5m	ケーブルなし

※降雪センサー銘板記載による

2. 3 ケーブル仕様

記号・寸法	C-5-0.5×※M
ケーブル長	2m、5m、10m、15m、20m、30m

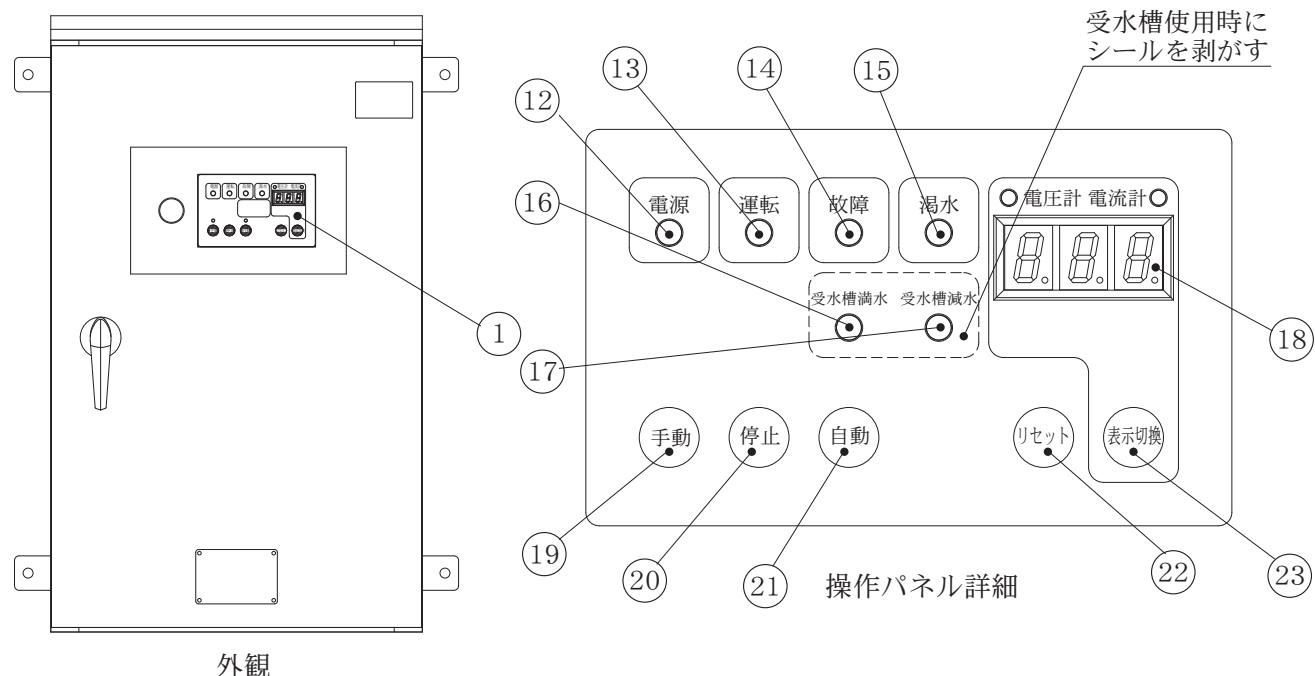
※Mはケーブル長による

3

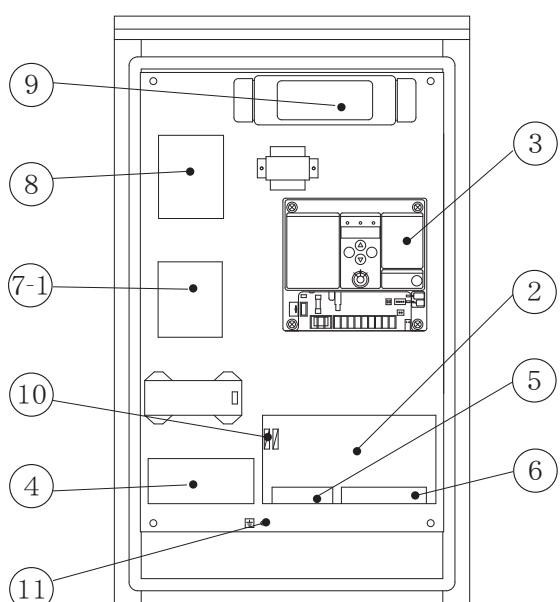
製品の構成

3. 1 ECASN3-G形構造図

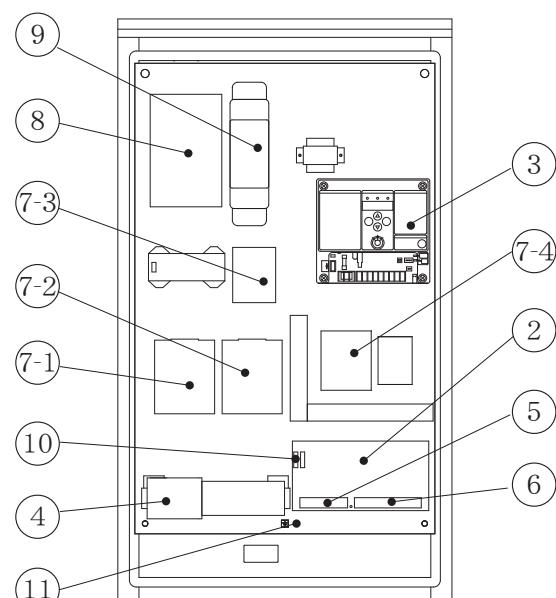
本図はECASN3-G形の代表例を示すものであり、機種により本図と多少異なるものもあります。



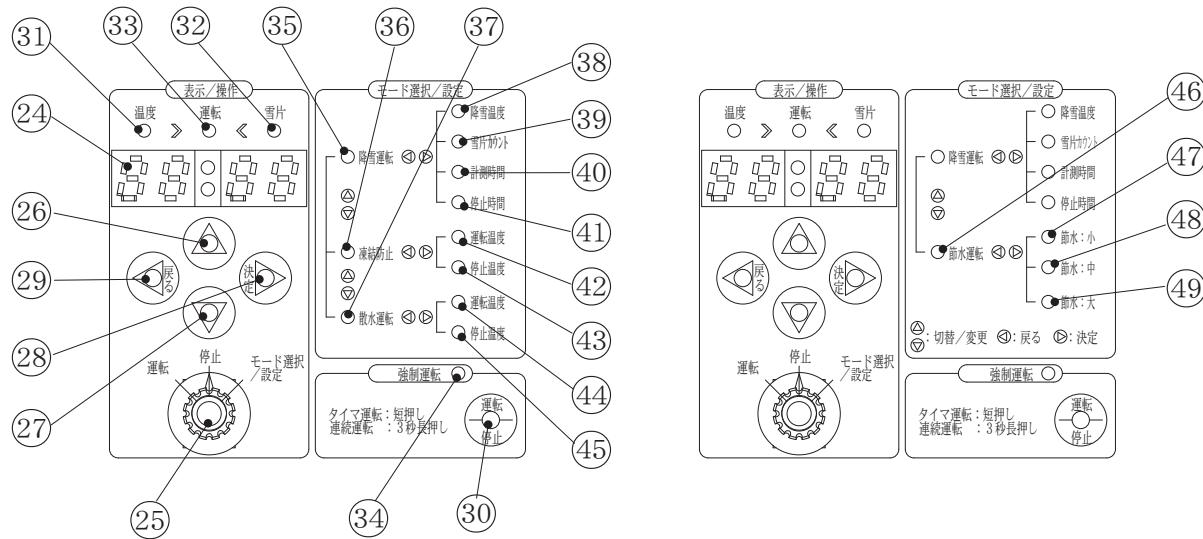
外観



0.75~7.5kW
制御盤内部



11~22kW
制御盤内部

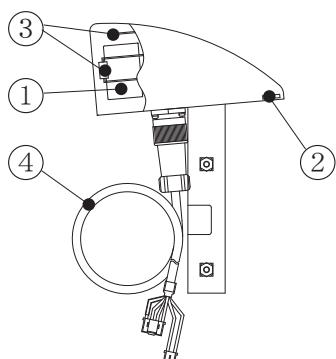


降雪センサー制御部詳細
(標準仕様、02仕様)

降雪センサー制御部詳細
(03仕様)

No.	名 称	備 考	No.	名 称	備 考
1	操作パネル		24	セグメント表示	温度、雪片、残り時間等
2	制御基板		25	セレクトスイッチ	運転、停止、モード選択／設定
3	制御基板	降雪センサー制御部	26	切替ボタン	
4	端子台	電源、モータ	27	切替ボタン	
5	端子台	無電圧出力	28	決定ボタン	
6	端子台	電極	29	戻るボタン	
7-1	電磁接触器		30	運転／停止ボタン	強制運転の切替ボタン
7-2	電磁接触器	11~22kWのみ	31	表示灯	温度条件
7-3	電磁接触器	11~22kWのみ	32	表示灯	雪片条件
7-4	電磁接触器	11~22kWのみ	33	表示灯	運転
8	漏電しゃ断器		34	表示灯	強制運転
9	進相コンデンサ		35	表示灯	降雪運転モード
10	ヒューズ		36	表示灯	凍結防止モード
11	アース端子		37	表示灯	散水運転モード
12	表示灯(赤)	電源	38	表示灯	降雪温度設定
13	表示灯(赤)	運転	39	表示灯	雪片カウント設定
14	表示灯(橙)	故障	40	表示灯	計測時間設定
15	表示灯(橙)	渴水	41	表示灯	停止時間設定
16	表示灯(橙)	受水槽満水	42	表示灯	運転温度設定(凍結防止)
17	表示灯(橙)	受水槽減水	43	表示灯	停止温度設定(凍結防止)
18	セグメント表示	電圧、電流、故障内容	44	表示灯	運転温度設定(散水運転)
19	手動運転ボタン		45	表示灯	停止温度設定(散水運転)
20	停止ボタン		46	表示灯	節水運転モード
21	自動運転ボタン		47	表示灯	節水:小
22	リセットボタン	3Eトリップ、渴水のリセット	48	表示灯	節水:中
23	表示切換ボタン	電圧、電流計の切換	49	表示灯	節水:大

3. 2 降雪センサーYMS形仕様



No.	名 称	備 考
1	光電センサー	雪片検出(内蔵)
2	温度センサー	気温検出(内蔵)
3	保温ヒータ	凍結・着雪防止用(内蔵)
4	ケーブル	2m、5m、10m、15m、20m、30m

3. 3 標準付属品

制御盤 E C A S N 3 - G 形

部品名	数量
取扱説明書	1
ヒューズ (3A)	1
圧着端子	必要数
キー	1

02仕様 (屋外自立ポール設置型) には下記の架台部品が別梱包にて付属されます。

部品名	数量	部品名	数量
架台	1	ばね座金 8	4
パッキン	1	ナット M8	4
ボルト M8×25	4	基礎ボルト M12×160	4
平座金 8	4	ナット M12	4

降雪センサー YMS 形

部品名	数量	備考
バンド	1	
予備銘板	1	
ケーブル (5m)	1	YMS※-5のみ

※降雪センサー銘板記載による。

3. 4 特別付属品

部品名	備 考	
水中電極 EHS-2	ケーブル: 灰	井戸水位制御用
水中電極 EHS-2	ケーブル: 黒	
電極保持器 EHC-3N	液面3P用	
電極保持器 EHC-4N	液面4P用	受水槽水位制御用
電極保持器 EHC-5N	液面5P用	
電極棒 1000	延長用	
電極セパレータ 3P		
ナット M6S	延長用	
蓄電池※	時計機能停電バックアップ用	

※蓄電池は標準仕様、02仕様のみ使用します。

4

作動原理 (制御盤 E C A S N 3 - G 形標準品、02仕様、03仕様のみ)

4. 1 特徴

選択する運転モードによって異なる動作を行います。

<標準仕様> (標準仕様、02仕様)

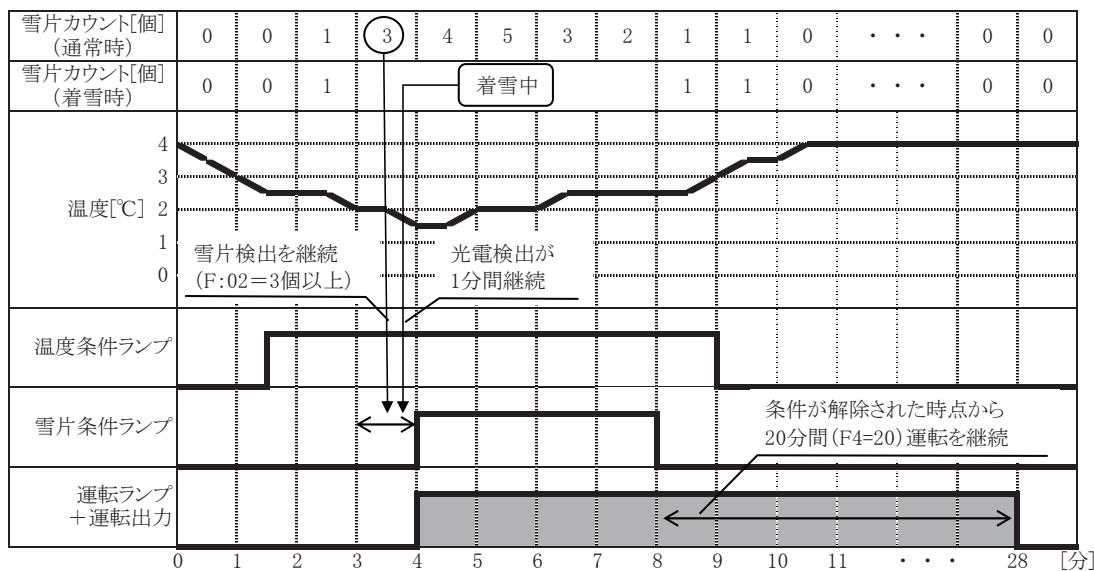
- 降雪運転モード：温度と雪片を検出し、設定した温度以下で雪が降ったときに運転出力を行います。
- 凍結防止モード：温度を検出し、設定した温度以下になると運転出力を行います。
- 散水運転モード：温度を検出し、設定した温度以上になると運転出力を行います。
- 降雪運転+凍結防止モード：降雪運転の条件に加え、凍結防止の条件でも運転出力を行います。

<消雪専用> (03仕様)

- 降雪運転モード：温度と雪片を検出し、設定した温度以下で雪が降ったときに運転出力を行います。
- 節水運転モード：動作は降雪運転モードと同じです。検出する雪片に応じてポンプを断続運転することで、節水運転を行います。

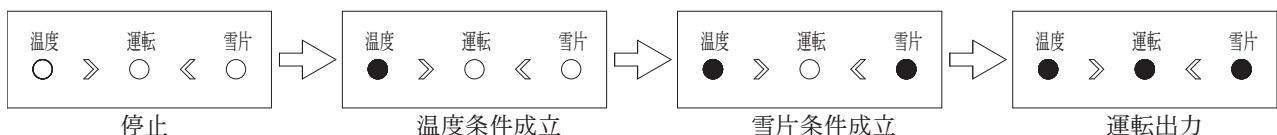
4. 2 作動原理

●降雪運転モード



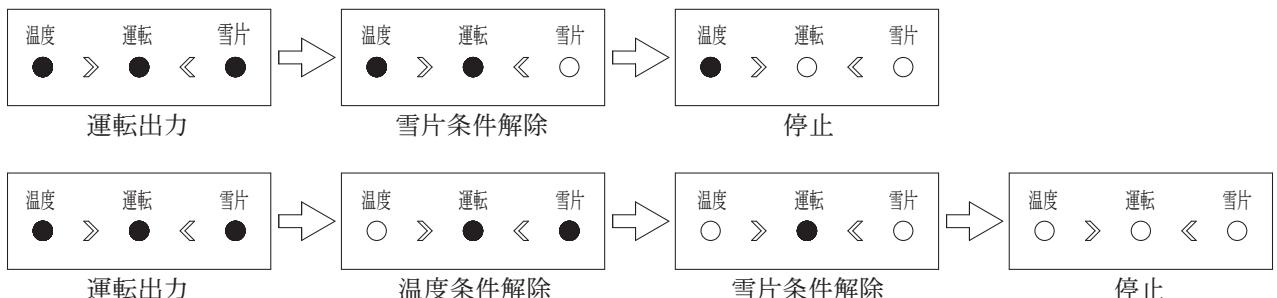
<起動>

- (1) 温度が 2.5°C 以下 ($F: 01 = 2.5^{\circ}\text{C}$ 以下) に低下すると温度条件が成立し、温度条件ランプが点灯します。
- (2) 温度条件ランプが点灯すると、雪片の計測を開始します。
- (3) 下記の条件 (①もしくは②) で雪片条件が成立し雪片条件ランプが点灯します。
 - ①雪片を 1 分間に 3 個 ($F: 02 - 3$ 個) 以上カウントし、1 分間 ($F: 03 = 1$ 分) 継続した場合。
 - ②センサー窓部への着雪により光電検出が 1 分間継続した場合。
- (4) 温度条件ランプと雪片条件ランプ (①もしくは②) が両方点灯すると、降雪運転条件を満たし、運転ランプが点灯し、運転出力を行います。



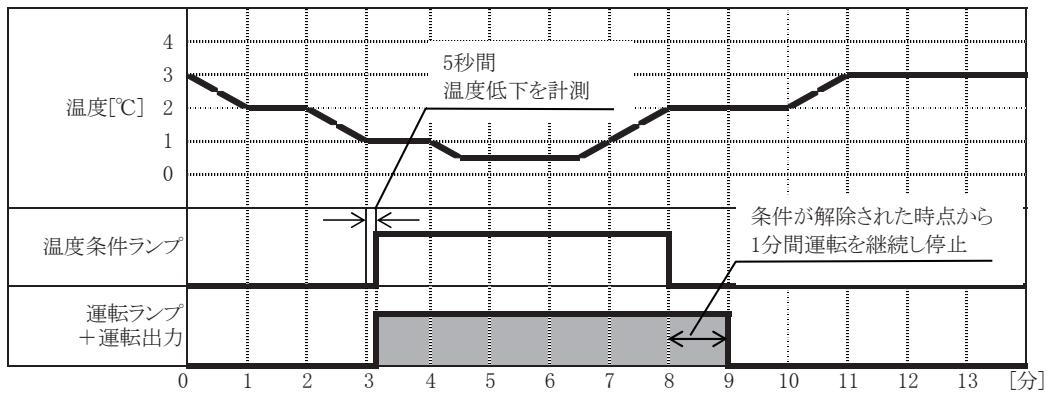
<停止>

- (1) 温度が 3.0°C 以上 ($F: 01 + 0.5^{\circ}\text{C}$) になると、温度条件が解除されて温度条件ランプが消灯します。
- (2) 下記の条件で雪片条件が解除されて雪片条件ランプが消灯します。
 - ①雪片カウントが 2 個以下 ($F: 02 - 1$ 個) になった場合。
 - ②センサー窓部への着雪が無くなり、光電検出を継続しなくなった場合。
- (3) 温度条件と雪片条件 (①もしくは②) のどちらかの条件が解除すると、その時点より停止時間として 20 分 ($F: 04 = 20$ 分) 運転を継続します。
- (4) 停止時間中に降雪がなければ、停止時間経過後に運転出力を停止します。



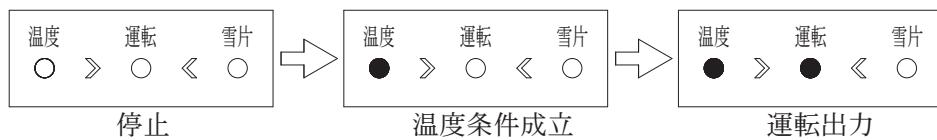
●凍結防止モード※

※消雪専用仕様(03仕様)を除く。



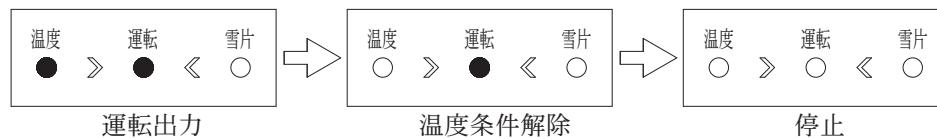
<起動>

- (1) 温度が 1.0°C 以下 ($F : 0.5 = 1.0^{\circ}\text{C}$ 以下) に低下して 5 秒継続すると温度条件が成立し、温度条件ランプ、運転ランプが点灯し、運転出力を行います。



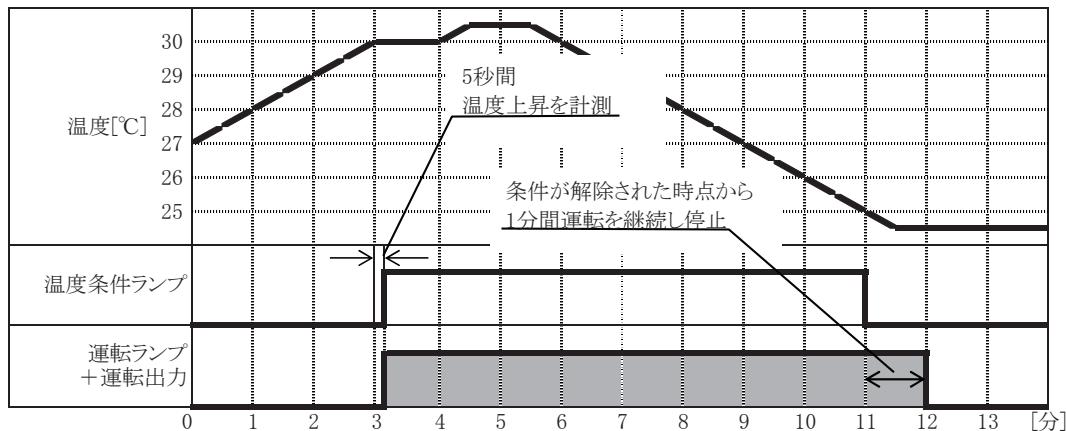
<停止>

- (1) 温度が 2.0°C 以上 ($F : 0.6 = 2.0^{\circ}\text{C}$ 以上) に上昇すると、温度条件ランプが消灯し、その時点より停止時間として 1 分運転を継続します。
- (2) 停止時間中に起動条件まで温度低下がなければ、1 分経過後に運転出力を停止します。



●散水運転モード※

※消雪専用仕様(03仕様)を除く。



<起動>

- (1) 温度が 30°C 以上 ($F : 0.7 = 30^{\circ}\text{C}$ 以上) に上昇して 5 秒継続すると温度条件が成立し、温度条件ランプ、運転ランプが点灯し、運転出力を行います。



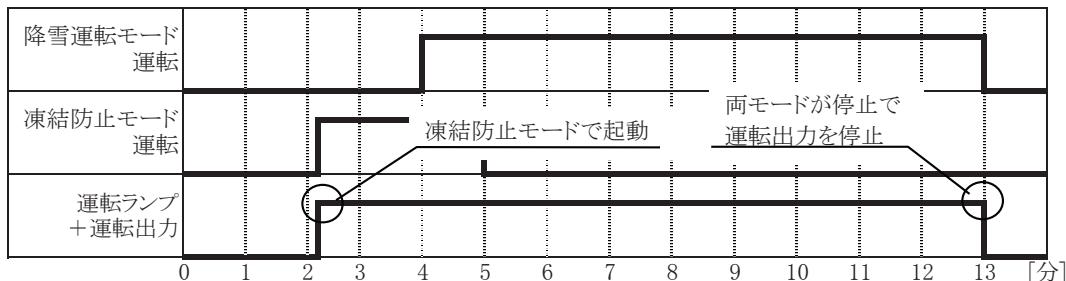
<停止>

- (1) 温度が25°C以下(F:08=25°C以下)に低下すると、温度条件ランプが消灯し、その時点より停止時間として1分運転を継続します。
- (2) 停止時間中に起動条件まで温度上昇がなければ、1分経過後に運転出力を停止します。



●降雪運転+凍結防止モード※

※消雪専用仕様(03仕様)を除く。



<起動>

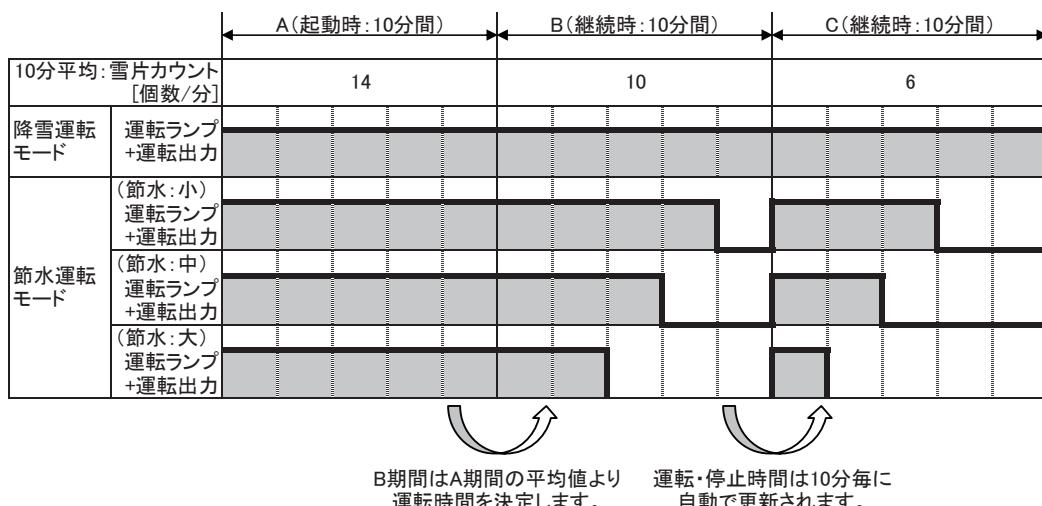
- (1) 降雪運転モードまたは凍結防止モードの起動条件が成立で、運転出を行います。

<停止>

- (1) 降雪運転モードおよび凍結防止モードの停止条件が成立で、停止時間経過後に運転出力を停止します。

●節水運転モード※

※標準仕様(標準仕様、02仕様)を除く。



- (1) 起動条件、停止条件については降雪運転モードと同じです。
- (2) 運転出力が10分間継続した場合、10分間の雪片カウント数の平均値により、次の10分間の運転・停止時間を決めて節水運転(断続運転)を行います。※
- (3) 運転・停止時間は10分毎に自動で更新されます。

※運転時間・停止時間について

$$\text{運転時間} = \text{節水率} \times 10\text{分}$$

$$\text{停止時間} = (1 - \text{節水率}) \times 10\text{分}$$

$$\text{節水率(小)} = \{(平均雪片カウント} - F:02\} / (20 - F:02)\}^{\frac{1}{2}}$$

$$\text{節水率(中)} = \{(平均雪片カウント} - F:02\} / (20 - F:02)$$

$$\text{節水率(大)} = \{(平均雪片カウント} - F:02\} / (20 - F:02)\}^2$$

▲ 警告

- 適用される法規定（電気設備技術基準・内線規程・建築基準法、水道法など）に従って施工してください。法規定に反するだけでなく感電・火災・落下・転倒によるけがなどの原因になります。
- 樹脂、ゴム部品は現場焼却しないでください。燃やすと有害なガスが発生する恐れがあります。処理方法は各自治体をご確認ください。
- 機器の寿命を考慮し、設置は風通しがよく、ほこり、腐食性及び爆発性ガス、塩分、湿気、蒸気、結露などがなく、風雨、直射日光の当たらない所を選んでください。悪環境下では、モータ・制御盤の絶縁低下などにより、漏電・感電・火災の原因になります。
- ローソク、たばこ、炎、火花などの火気を近付けないでください。火災の恐れがあります。
- 爆発性雰囲気中では使用しないでください。火災の恐れがあります。

▲ 注意

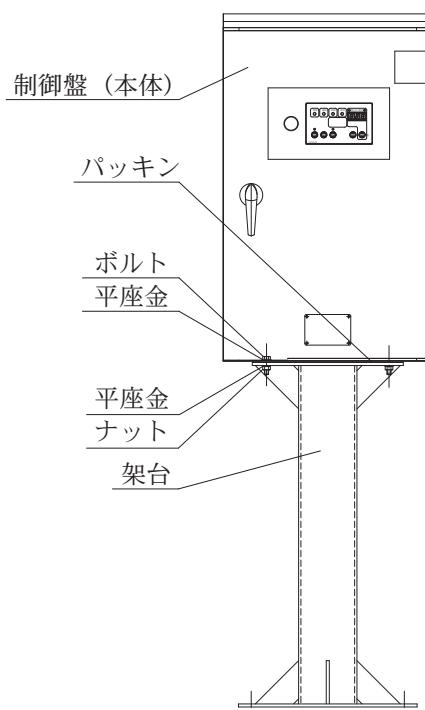
- 機器に衝撃を与えると、転倒させないでください。破損する恐れがあります。
- 機器の上に物を載せたり、人が乗ったりしないでください。機器の破損や転倒してけがをする恐れがあります。
- 制御盤への穴加工などの改造はしないでください。加工をして部品に切り屑・鉄粉などが付着すると火災や故障の原因になります。
- 制御盤内に付属品以外の物を入れないでください。火災が発生する恐れがあります。
- 据付、点検などの作業を行う前に、周辺を整理してください。滑ったり、つまずいたりして、けがをする恐れがあります。
- 制御盤の扉開閉時は、手指の挟みに注意してください。けがをする恐れがあります。
- 端子（箱）カバーは、手指の挟みに注意して取り付けてください。けがをする恐れがあります。
- 梱包は釘やホッチキスの針などに注意して開梱してください。けがをする恐れがあります。
- 本製品を包装しているビニール袋をかぶらないでください。窒息の恐れがあります。
- 屋外等、虫や動物等が制御盤へ侵入する可能性がある場合は、各ケーブルと制御盤のゴムブッシュとの隙間をコーティング材で埋める等の対策を施してください。虫や動物等が制御盤等へ侵入した場合、不具合や故障の原因になります。

5. 1 制御盤E C A S N 3 - G形の据付時のご注意

- (1) 分解組立が便利で、落雪等の影響のない場所に設置してください。
- (2) 周囲温度-10°Cを下回らない場所、周囲温度40°C、湿度90%RHを越えない場所に設置してください。

5. 2 02仕様の据付

- (1) 右図の様に組立ください。
- (2) パッキンにはボルト穴以外の穴は開けてありません。
お手数ですが、配線に応じ加工ください。

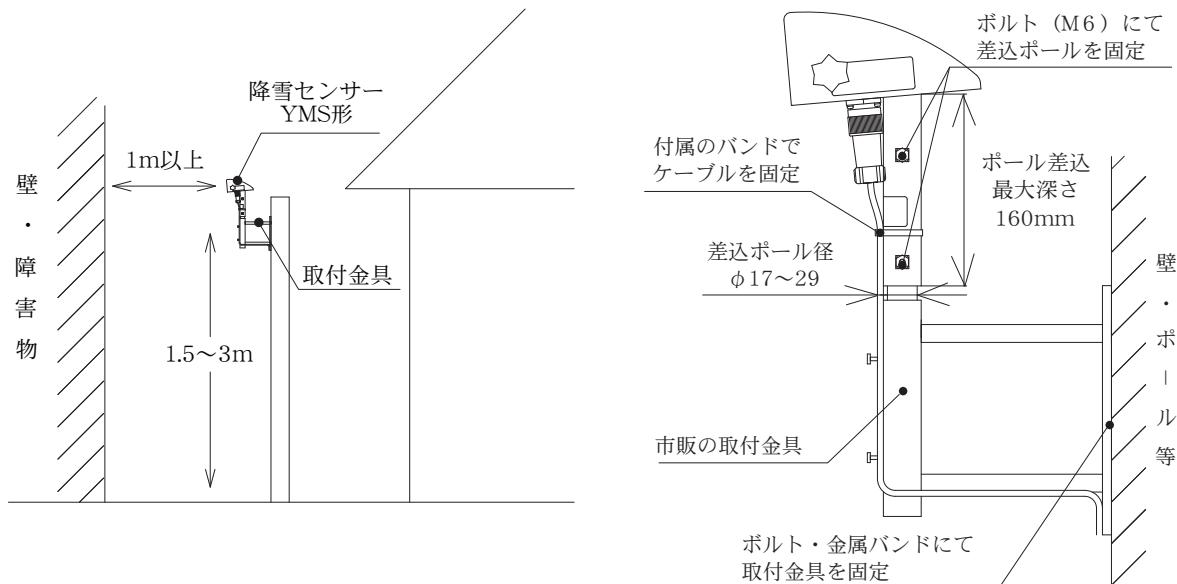


5. 3 降雪センサーYMS形の据付時の御注意

▲ 注意

- 屋外で、風上・風下は避け、降雪が確実に検出できるところに設置してください。
正常に動作を行わない恐れがあります。
- 直接光が光電センサーに入射しないように設置してください。
センサーに太陽光、ストロボ光、インバータ照明など（ガラスや鏡などに反射した正反射光を含む）が直接入射する場合、それらの光によりセンサーが誤作動する場合があります。その際は、それらの光がセンサーに直接入射せず、降雪が確実に検出できる向きへ変更してください。

- (1) 取付けの高さは、降雪を確実に検出できる「地上高 1.5 ~ 3 m」の間に設置してください。
- (2) 気温の検出を妨げる物（煙突の近く、その他熱源の近く）がない場所に設置してください。
- (3) 周囲に降雪の検出を妨げる物（樹木、屋根、電線の下、熱源の近く等）がない場所に設置してください。
- (4) 前方 1 m以内に、壁や障害物がない場所に設置してください。
- (5) 降雪センサー付近に赤外線を用いるセンサー等がある場合、誤動作する可能性があります。赤外線の影響を受けない場所に設置してください。
- (6) 付属の予備銘板を、制御盤 E C A S N 3 - G 形の内部に貼り付けてください。
- (7) Y M S 形にポール（ $\phi 17 \sim 29$ ）を差込み、ボルト（M 6）2本で固定してください。
- (8) センサーケーブルは付属のバンド（1本）で固定してください。
- (9) 取付金具については、市販の B S ・ C S アンテナ用パーツ等をご購入の上、壁・ポール等にボルトや金属バンドで固定してください。



6

電気工事

▲ 警 告

- 電気工事は、「電気設備技術基準」及び「内線規程」に従い専門技術者により確実に施工してください。配線、接続に不備があると、故障・漏電・感電・火災の原因になります。
- 接地工事は通電前に必ず行ってください。アース線を確実に取り付けないで運転すると故障、漏電・感電・火災の原因になります。また、アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに接続しないでください。アースが不完全な場合、感電する恐れがあります。
- 本製品専用に漏電しゃ断器を取り付けてください。漏電・感電・火災の原因になります。
- タコ足配線（複数の電気機器を接続）は避け、専用配線にて施工してください。漏電・感電・火災の原因になります。

- 配線作業などで取り外した端子カバーは必ず元通りに取り付けてください。感電やけがある恐れがあります。
- 電源プラグ・配線接続部・結線部・端子部などのほこりを除去してください。ほこりの付着などを放置すると発熱し、火災の原因になります。
- 電源投入前に配線接続部・結線部が緩んだり外れたりしていないか、確認してください。一箇所でも緩んだり外れたりしていると、火災・感電の原因になります。

▲ 注意

- 降雪センサーの接続ケーブルを加工・改造しないでください。故障・事故の原因となります。
- 制御盤内へケーブル類を引き込む際は必ずコーティング処理を行ってください。湿気や異物等の侵入による故障・事故の原因となります。
- 電源ケーブルや制御線を同一管内またはダクト内に併設させないでください。本製品や他の機器が誤動作する恐れがあります。

6. 1 接地工事

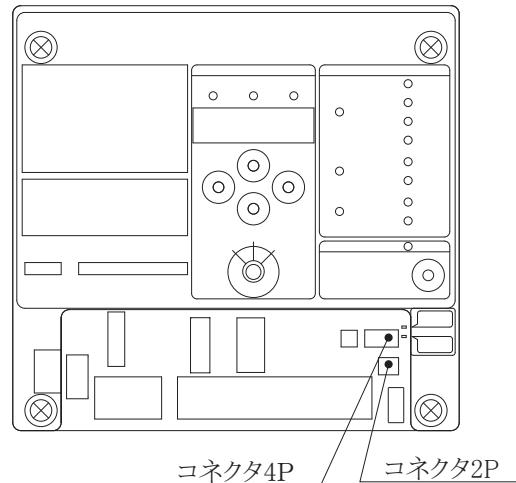
- (1) 電源に漏電しゃ断器を取り付けてください。
- (2) 制御盤内のアース端子がありますので、接地工事を行ってください。

6. 2 電源の接続

電源線を制御盤のR・S・T端子に接続してください。

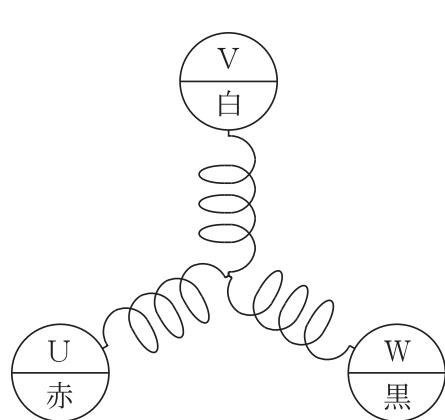
6. 3 降雪センサーYMS形と制御盤ECA SN 3-G形の接続

降雪センサーYMS形のセンサーケーブルのコネクタ2個(2P、4P)を、制御盤ECA SN 3-G形の制御基板上のコネクタに接続し、付属のケーブルクランプで固定してください。

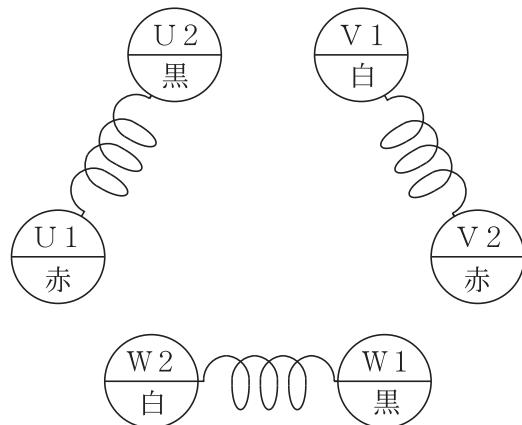


6. 4 モータ

ポンプケーブル端子に端子記号が表示してあります。
記号がはがれて分からぬ場合は下図を参照してください。



直入始動（7.5 kW以下）の場合



スターデルタ始動（11 kW以下）の場合

結線方法

▲ 警 告

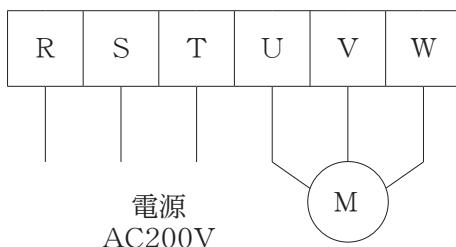
- 結線を行うときは、必ず元の電源を切ってください。感電やけがをすることがあります。

▲ 注 意

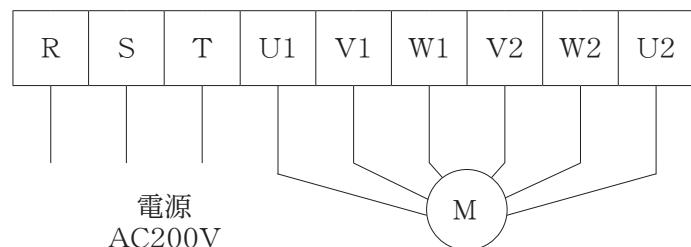
- 空運転（ポンプに水のない状態での運転）はしないでください。ポンプの故障・井戸の崩壊につながる恐れがあります。空運転防止のために井戸の水位制御を行ってください。
- 制御盤と電極までの配線は出来るだけ短くしてください。ノイズ等の影響により動作に異常をきたすことがあります。（配線可能距離：V C T 0.75 mm²キャブタイヤケーブルにて1km以下）

7.1 電源・モータの結線

(1) 7.5kW以下の場合



(2) 11kW以上の場合



7.2 水位制御：水位によるポンプの始動・停止

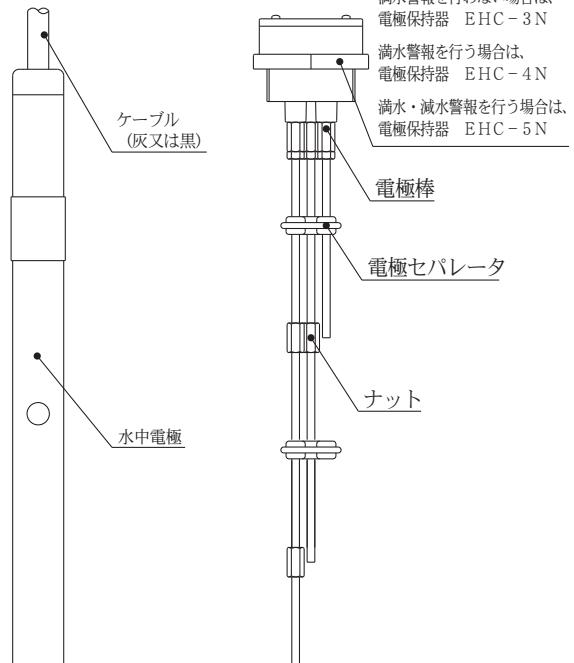
水位制御を行うには下図に示す井戸用水中電極、受水槽用電極が必要です。

3.4特別付属品を参照して、別途お買い求めください。

(1) 井戸側水位制御

工場出荷時にはE1-E3間に短絡線が取り付けられていますので取り外してください。電極の接続は7.4制御盤展開接続図を参照してください。

水中電極EHS-2を使用する場合は黒コードをE3に白コードをE2(E1)に接続してください。



(2) 受水側水位制御

電極の接続は7.4制御盤展開接続図を参照してください。受水槽減水検出を行う場合は、E3-E15間の短絡線を取り外してください。

(3) 抵抗内蔵の電極保持器EHC-3又はEHC-4を使用する場合は、内部の抵抗を取り外してください。

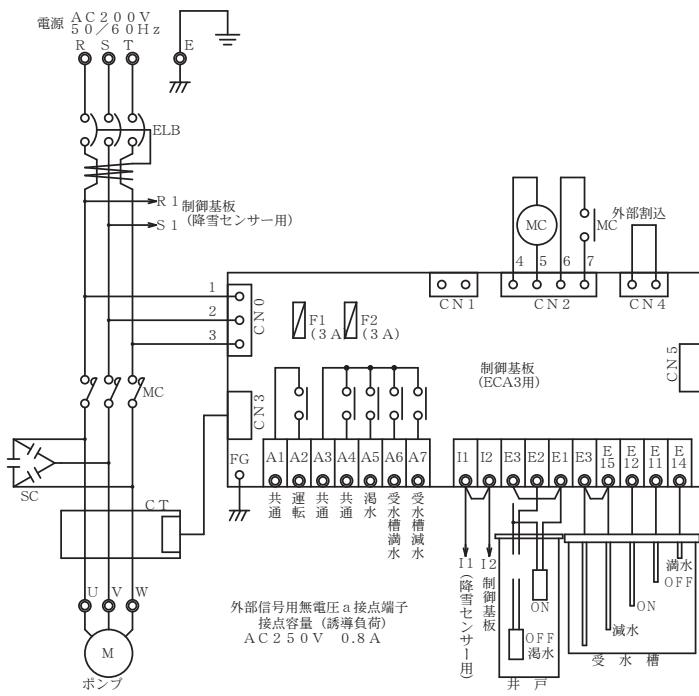
7.3 外部信号

7.4制御盤展開接続図を参照ください。

監視盤などと接続するための外部信号用無電圧出力端子です。

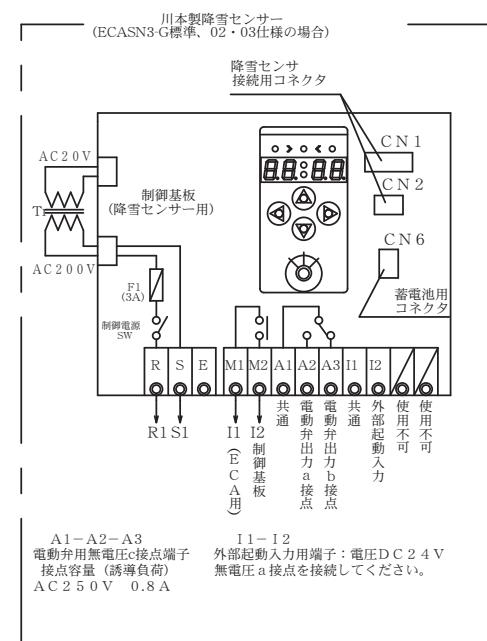
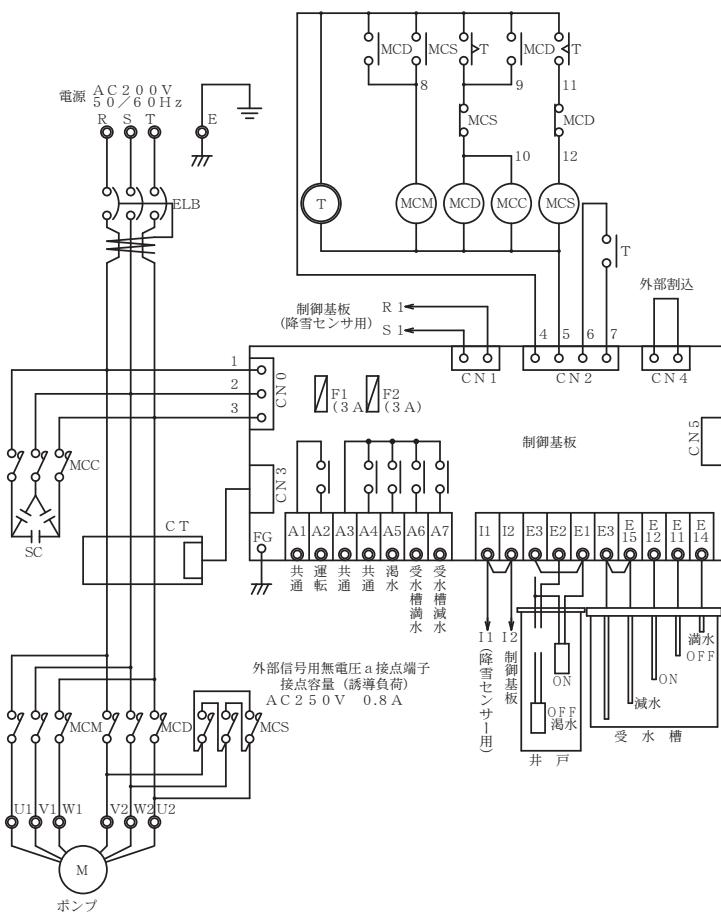
7.4 制御盤展開接続図

(1) 7.5 kW以下の場合



記号	部品名
ELB	漏電しゃ断器
MC	電磁接触器
SC	進相コンデンサ
CT	変流器

(2) 11 kW以下の場合



記号	部品名
ELB	漏電しゃ断器
MCM・D	電磁接触器
MCS・C	電磁接触器
SC	進相コンデンサ
CT	変流器
T	スターデルタタイマー

※ 11 kW以上の場合、他社降雪センサーを接続する際には、付属品のコネクタケーブルを使用し、制御基板のCN 1から電源を取り出してください。また、I 1-I 2 (ECA形用制御基板) の短絡線を取り外し、運転入力信号 (a接) を接続してください。

8 設 定

▲ 注 意

- 使用環境に合わせて、運転モードと設定項目の値を適切に設定してください。設定が不適切な場合、正常に動作を行わない恐れがあります。

8.1 電源投入

(1) 電源投入の前に、結線が正しく行われているか、端子のビスのゆるみはないか、確認します。

(2) 降雪センサー制御部の電源スイッチをONにします。

セグメント表示や、ランプの点灯・点滅は選択しているセレクトスイッチ、運転モード※により異なります。

①運転を選択している場合

- ・バージョン、温度（例：2.5°C）の順に表示します。
- ・選択している運転モード※のランプが点灯します。
- ・温度条件が成立していれば温度条件ランプが点灯します。

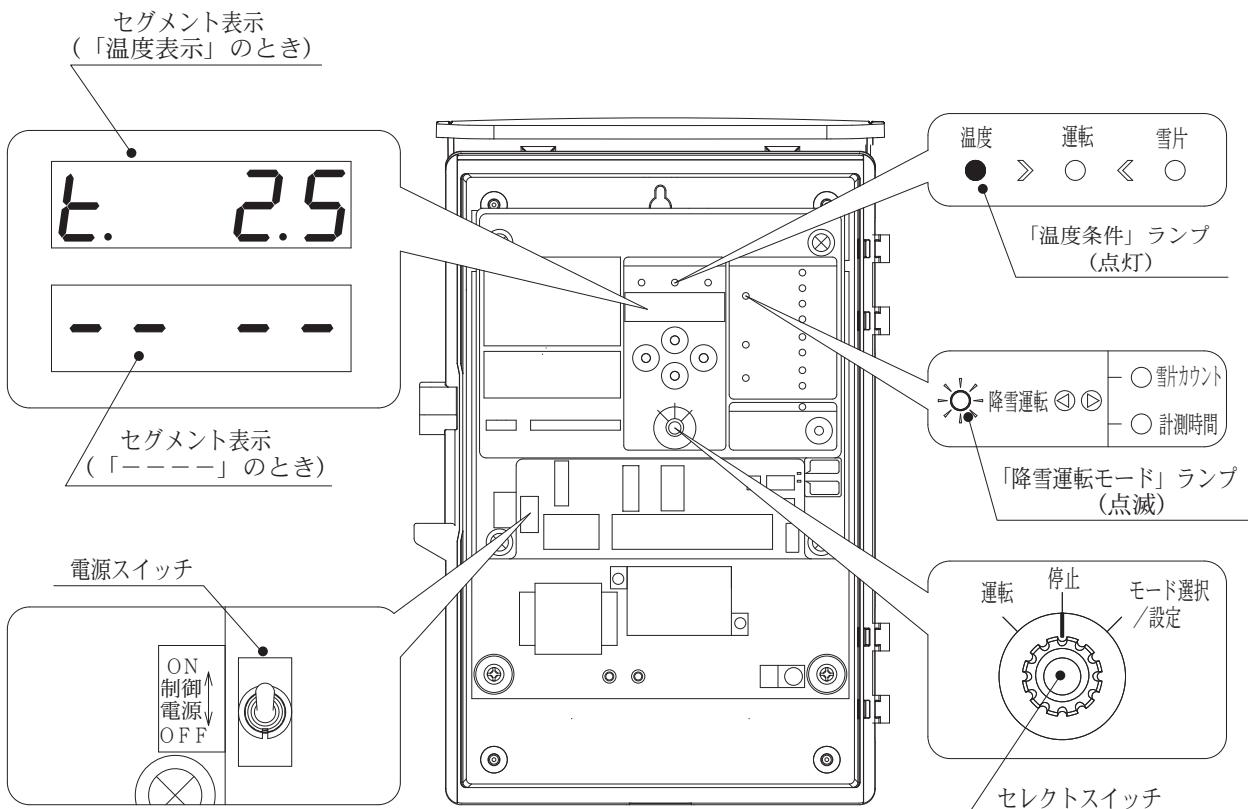
②停止を選択している場合

- ・バージョン、「-----」の順に表示します。
- ・選択している運転モードのランプが点灯します。

③モード選択 / 設定を選択している場合

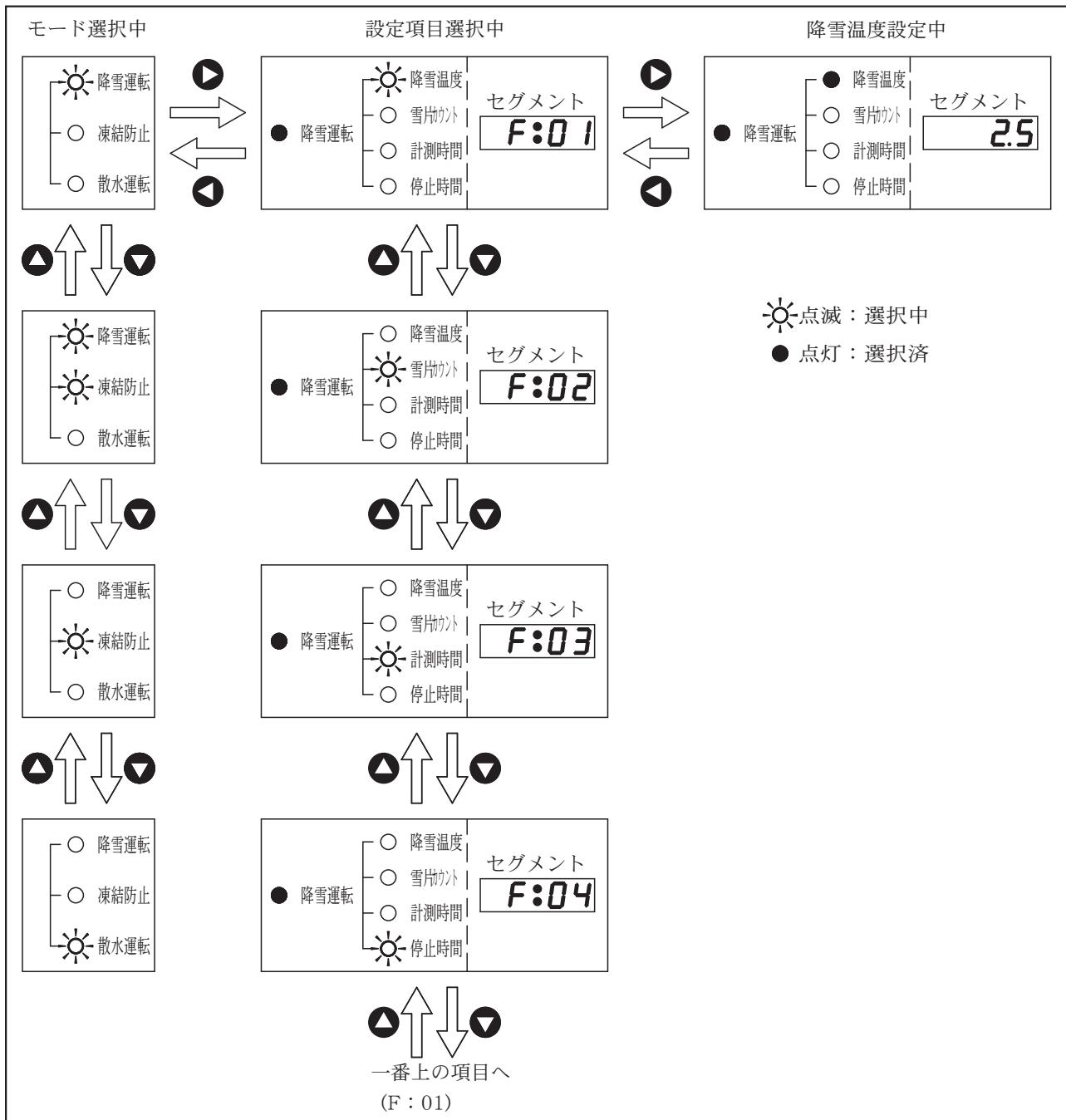
- ・バージョン、「-----」の順に表示します。
- ・選択している運転モードのランプが点滅します。

※工場出荷時は降雪運転モードに設定されています。

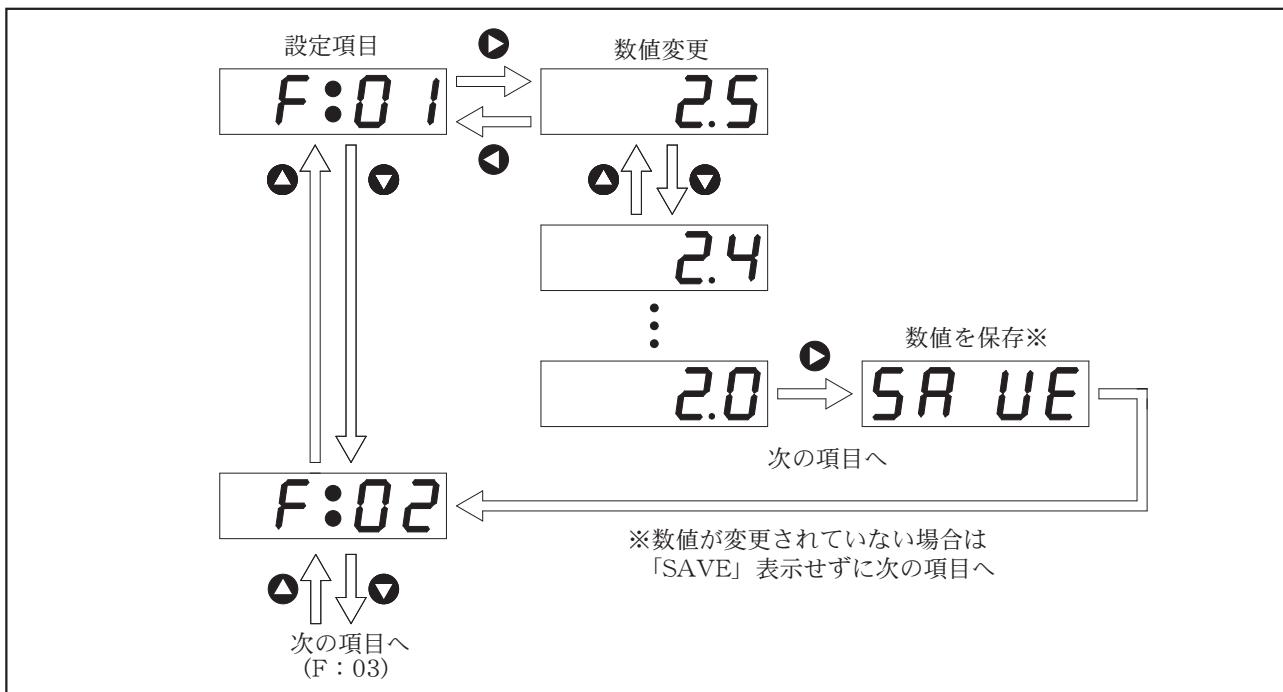


8.2 設定変更の流れ

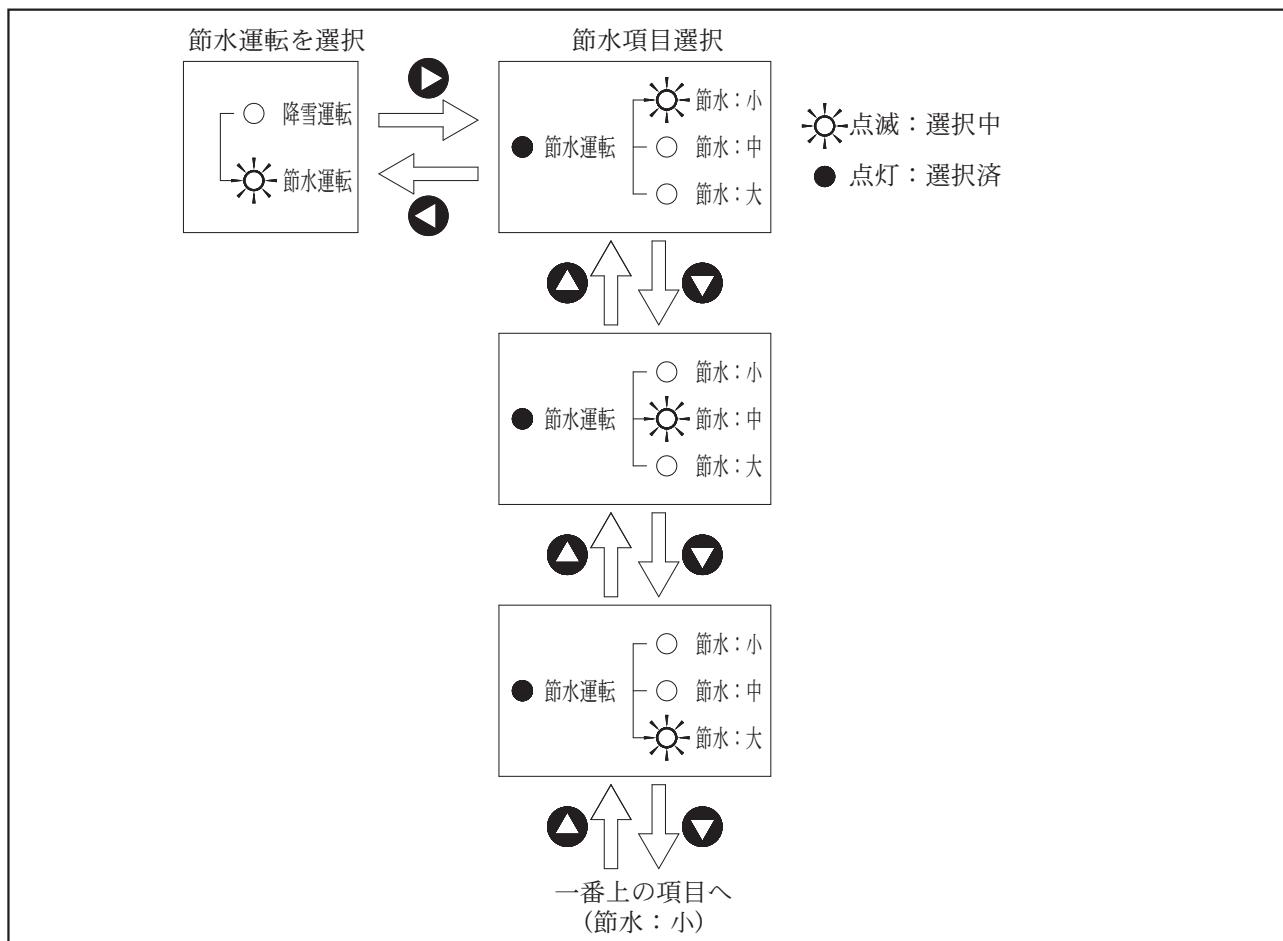
- (1) セレクトスイッチを変更して「モード選択 / 設定」を選んでください。
- (2) 下図に従い運転モードを選択してください。
- (3) 下図に従い設定項目を選択してください。
設定項目を選択中はセグメント表示に設定項目コードが表示されます。
(例:「降雪運転モード」を選択し、「降雪温度 (F : 01)」の値を変更する場合)



- (4) 設定項目を決定すると、セグメント表示部に値が表示されます。
ご使用環境に合わせて、下図の操作方法に従い数値を変更してください。
(例：「降雪温度 (F : 0 1)」を 2.5°C \rightarrow 2.0°C へ変更する場合)



- (5) 消雪専用仕様で節水運転モード（03仕様）を使用する場合
 ① (1)～(4)に従い、降雪運転の設定項目の値を変更してください。
 ② 運転モードを節水運転に切り替えてください。
 ③ 節水の割合を切替ボタン（△▽ボタン）で選択してください。
 ※選択後、決定ボタン（▷ボタン）の押下は不要です。



8. 3 設定範囲

設定項目と設定範囲は下表の通りです。ご使用される使用環境に応じて、値を設定してください。

運転モード	設定項目		初期値	設定範囲	備考			
降雪運転	F : 01	降雪温度[°C]	2.5°C	0.0~+40°C	—			
	F : 02	降雪カウント[個]	3個	2~99個	—			
	F : 03	計測時間[分]	00 : 01	00 : 01~00 : 30 (1分~30分)	—			
	F : 04	停止時間[分]	00 : 20	00 : 00~01 : 30 (0分~90分)	00 : 00の時は5秒後に停止します。			
凍結防止	F : 05	運転温度[°C]	1.0°C	-5~+5°C	F : 06の設定値よりも上げる場合は、 F : 06=F : 05+1°Cに設定値が変わります。			
	F : 06	停止温度[°C]	2.0°C	-4~+10°C	F : 06の設定値はF : 05+1°Cが 下限値となります。			
散水運転	F : 07	運転温度[°C]	30°C	+25~+50°C	F : 08の設定値よりも下げる場合は、 F : 08=F : 07-5°Cに設定値が変わります。			
	F : 08	停止温度[°C]	25°C	+20~+45°C	F : 08の設定値はF : 07-5°Cを 上限値となります。			
節水運転	節水：小							
	節水：中							
	節水：大							

8. 4 表示切替

セレクトスイッチで「運転」を選択しているときは各ボタンで表示を切り替えることが可能ですが。※強制運転中を除く。



9 運 転

▲ 警 告

- 配線を取り付けたり取り外したりする場合、必ず電源を遮断して作業を実施してください。感電する恐れがあります。
- 電源を投入後及び通電状態にて制御盤の充電部やモータ端子、ケーブル先端部などに触れないでください。漏電・感電・火災の原因になります。
- 制御盤のカバーを開けたまま使用しないでください。ほこりや絶縁劣化などで漏電・感電・火災の恐れがあります。

- 制御盤には水をかけないでください。感電・漏電・火災や故障の原因になります。
- 濡れた手で電源や操作スイッチなどをさわらないでください。感電やけがをする原因になります。

▲ 注 意

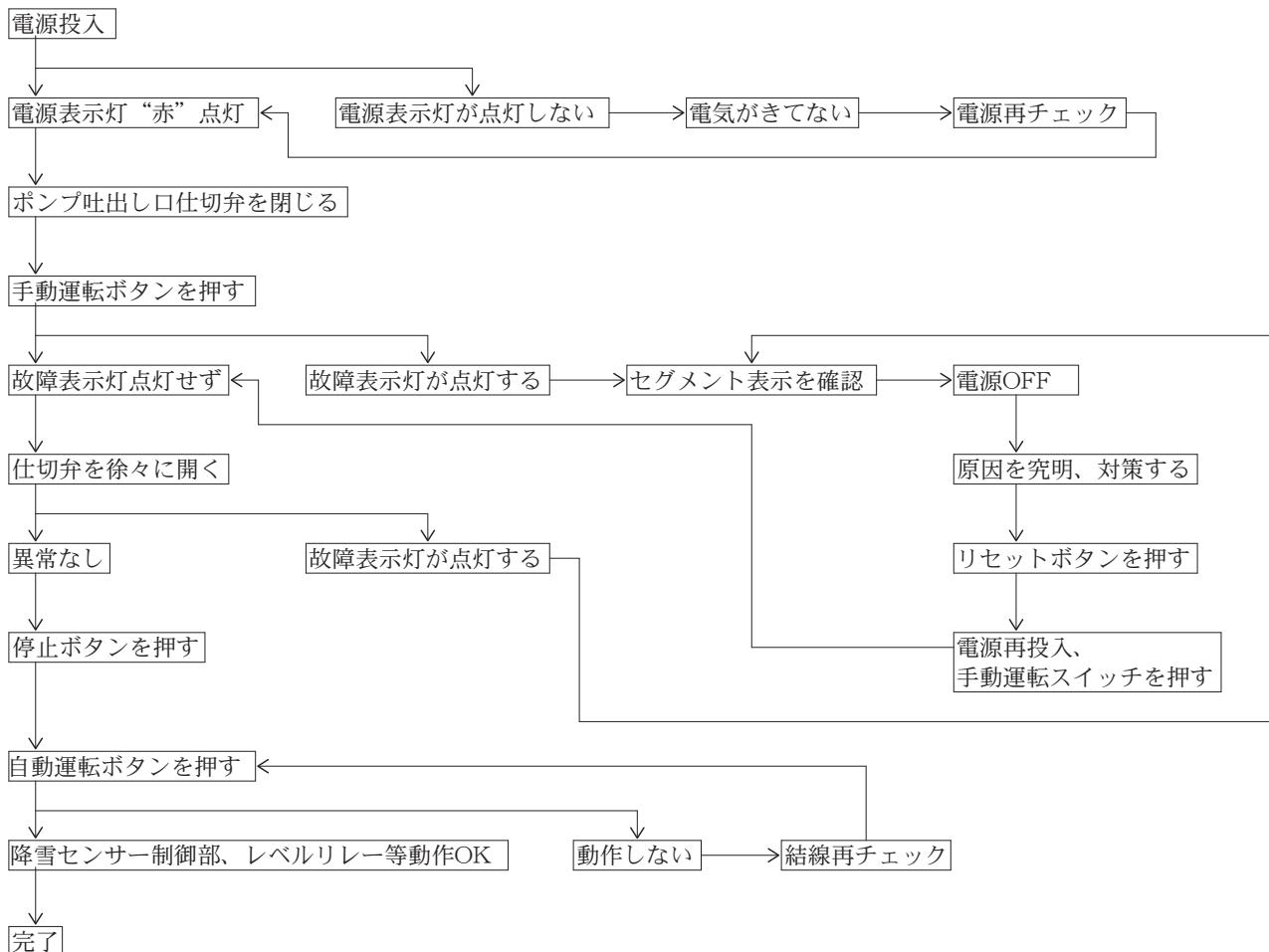
- 定格電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 運転中、停止直後はポンプ、モータなどに触れないでください。高温になっている場合がありますので、火傷をする恐れがあります。
- 長期間使用にならない場合は電源を遮断してください。絶縁劣化による漏電・感電・火災の原因になります。
- 制御盤の操作スイッチは正しく設定してください。不動作による設備の二次被害や故障の恐れがあります。
- ポンプの周辺、モータ、ケーブル、制御盤、ポンプカバー内にものを置いたりかぶせたりしないでください。過熱して発火やけがをする恐れがあります。
- 機器の運転は、仕様範囲内で行ってください。仕様範囲外での運転は、機器の故障や事故の原因になります。

9. 1 始動する前に

- (1) 配線が正しく行われているか、端子ビスのゆるみはないか、確認してください。
- (2) 電源が入っていることを確認します。
- (3) 接続したポンプの動作を確認してください。

9. 2 制御盤E C A S N 3-G形の動作確認

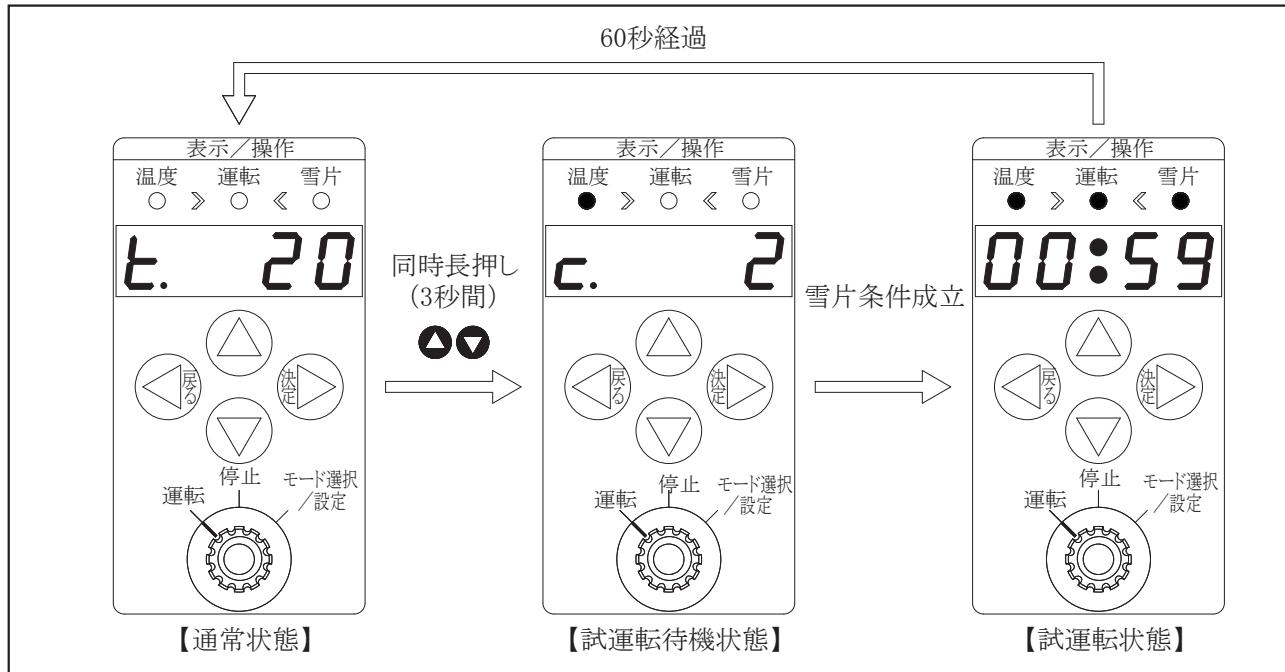
下記に従い実施してください。



9. 3 降雪センサー制御部の動作確認

<降雪運転モードの場合>

- (1) 電源スイッチをONにすると、セグメント表示がされます。
- (2) セレクトスイッチを「運転」にしてください。
- (3) 切替ボタンを2つ(△と▽)を同時に3秒押すと、試運転モードに移行します。
- (4) 試運転モードに移行すると、検出温度によらず温度条件が成立し雪片カウント可能となる試運転待機状態となります。
- (5) 降雪センサーの光電センサー検出窓の前に手などをかざし、雪片カウントをすれば降雪センサーは正常です。
- (6) 雪片カウント(F:02)が設定した値以上となると、試運転状態となりセグメント表示が「00:60(秒)」からカウントダウンを始めます。60秒の試運転の間、「運転」ランプが点灯し、運転出力を行います。
- (7) 試運転終了後、運転出力を停止し、降雪運転モードへ復帰します。



<降雪運転モード以外の場合>

- (1) 電源スイッチをONにすると、セグメント表示がされます。
- (2) セレクトスイッチを「運転」にしてください。
- (3) 各運転モードの始動条件を成立させて、運転出力を行うか、強制運転にて運転出力を確認してください。

9. 4 通常運転

- (1) 制御盤をご確認ください。

自動運転スイッチ→ON (運転表示灯、自動表示灯点灯)

- ※1 表示切換ボタンを押す度に、電源電圧とモータ電流の表示が切り替わります。
 - ※2 リセットボタンは、3Eトリップと渴水リセットを兼用しています。
 - ※3 3Eトリップ試験は、表示切換ボタンを押しながらリセットボタンを押すことにより行えます。
- (2) バルブ類の開閉をご確認ください。

ポンプの吐出し口の仕切弁	→開
圧力計のコック	→閉

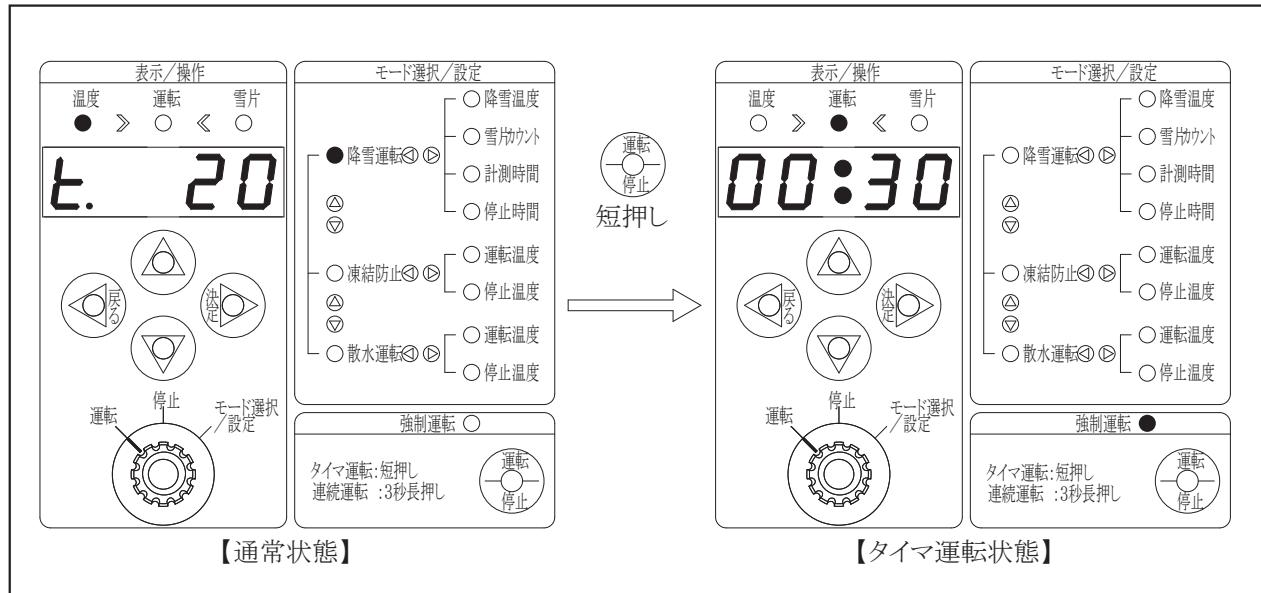
9. 5 降雪センサー制御部自動運転

- (1) 電源スイッチをONにします。
- (2) セレクトスイッチを「運転モード/設定」にして、運転モードの選択と、設定項目の設定を行ってください。
(運転モードの選択、設定変更についてはP.14~P.17を参照してください。)

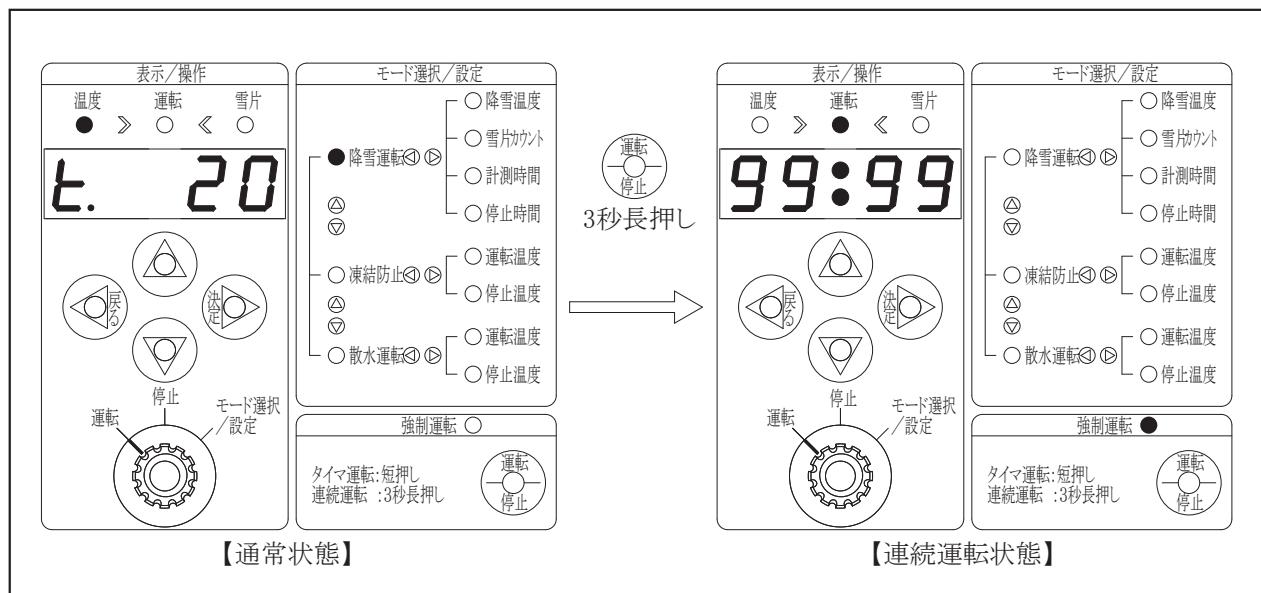
- (3) セレクトスイッチを「運転」にしてください。
 (4) 設定した運転モードに従い自動運転を行います。
 (運転モードの動作についてはP.5~8を参照してください。)

9. 6 降雪センサー制御部強制運転

- (1) 電源スイッチをONにします。
 (2) セレクトスイッチを「運転」にしてください。
 (3) 「運転／停止」ボタンを押下すると、「運転ランプ」「強制運転ランプ」が点灯し、その他のランプは消灯します。
 (4) 下記に従い強制運転を実施します。
 ①タイマ運転：「運転／停止」ボタンを短押し
 セグメント表示に「00：30」を表示し、時間経過でカウントダウンして停止するタイマ運転を行います。初期値30分ですが、切替ボタン（△▽ボタン）で00：01～08：00（1分～480分）の範囲値を変更することができます。



- ②連続運転：「運転／停止」ボタンを3秒長押し
 セグメント表示に「99：99」を表示し、時間経過でも停止しない連続運転を行います。



9. 7 降雪センサー制御部外部起動

- (1) I 1・I 2端子に無電圧a接点を接続してください。
- (2) 電源スイッチをONにします。
- (3) セレクトスイッチを「運転」にしてください。
- (4) I 1・I 2端子に信号が入力されると「運転ランプ」が点灯し、外部起動による運転を行います。
- (5) I 1・I 2端子の信号が解除されると「運転ランプ」が消灯し、外部起動による運転を停止します。

10 保守・点検

▲ 警 告

- 動かなくなったり異常（ケーブル破れ、コゲ臭いなど）がある場合、直ちに運転を停止して電源を遮断し、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検あるいは修理を依頼してください。異常のまま運転を続けたり、修理に不備があると、漏電・感電・火災、漏水などの原因になります。
- 点検・交換の際は、必ず電源を遮断して作業を実施してください。漏電・感電やけがの恐れがあります。
- 修理技術者以外の人は、分解・修理・改造やケーブル交換を行わないでください。不備があると、故障・破損・感電・火災の原因になります。
- 機器を移動し再設置する場合は、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご相談ください。据付に不備があると、漏電・感電・火災、漏水などの原因になります。
- 制御盤などの電気部品の点検・交換時には、電源遮断後テスターなどで無電圧になっていることを確認してから作業を実施してください。感電やけがの恐れがあります。
- 修理の際は当社純正部品を使用ください。純正部品以外を使用した場合、故障及び事故の原因になります。また、正常な機能を発揮できない恐れがあります。
- 濡れた手で電源や操作スイッチなどをさわらないでください。感電やけがをする原因になります。
- 電源投入前に配線接続部・結線部が緩んだり外れたりしていないか、確認してください。一箇所でも緩んだり外れたりしていると、火災・感電の原因になります。
- 進相コンデンサは、交換時期の目安（10年）を超えて使用しないでください。経年劣化により発火の危険性があります。

▲ 注 意

- 絶縁抵抗測定は250V以下の絶縁抵抗計をご使用ください。制御基板などが破損する恐れがあります。
- 長期間安心して使用いただくために定期点検と日常点検両方の実施をお勧めいたします。点検を怠ると、ポンプの故障、事故などの原因になります。定期点検についてはご購入先、もしくは最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 定期的に保護継電器の動作確認を行ってください。事故時に正常動作せず、感電や故障の恐れがあります。
- シーズンオフ等で長期間使用にならないときは電源を遮断してください。絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。
- 消耗部品は定期的に交換を行ってください。劣化・摩耗したまま使用した場合、水漏れや焼付き・破損など、事故の原因になります。定期点検、部品交換などは、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に依頼してください。
- モータの絶縁抵抗試験を行うときは配線を制御盤から外し、絶縁抵抗計により接地端子とモータの各配線間を測定してください。配線を繋げたままで絶縁抵抗試験を行うと制御部品が故障する原因になります。
- 点検は点検項目に従って必ず行ってください。故障を未然に防止できず、事故につながる恐れがあります。

10.1 日常点検

セグメント表示部に異常表示（1.1.1 参照）が出ていないか、日常的に確認してください。またシーズン前には必ず試運転を行い、降雪センサーと制御盤、ポンプの点検を実施してください。

項目	判定基準
電流	定格電流以下
電圧	定格電圧の±10%以内
表示灯	点灯・消灯が正しいこと
セグメント表示部	異常表示※が出ていないこと

10.2 6カ月点検

項目	判定基準
盤内の結露	結露が無いこと
3Eリレー	約2秒で動作すること（※）
リレー類	変色等の異常がないこと

※3 Eリレートリップテストは、ポンプ運転中に表示切換ボタンを押しながらリセットボタンを押してください。テストモードに切り替わると、整定電流値の600%電流値を点滅表示後にOL表示し、手動リセットにて復帰します。

10.3 シーズンオフの取り扱い

長期間ご使用にならないときは、省エネの観点からも、電源を遮断してください。

11 故障

▲警告

- 動かなくなったり異常（ケーブル破れ、コゲ臭いなど）がある場合、直ちに運転を停止して電源を遮断し、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検あるいは修理を依頼してください。異常のまま運転を続けたり、修理に不備があると、漏電・感電・火災、漏水などの原因になります。
- 点検・交換の際は、必ず電源を遮断して作業を実施してください。漏電・感電やけのが恐れがあります。
- 修理技術者以外の人は、分解・修理・改造やケーブル交換を行わないでください。不備があると、故障・破損・感電・火災の原因になります。

▲注意

- 3 Eリレーが動作した場合、原因を取り除いてからリセットさせてください。やむをえずそのままリセットさせる時は、モータ保護のため必ず10分以上の冷却時間をおいてください。無理に運転を続けますと、モータが損傷する恐れがあります。

11.1 異常表示

(1) 制御盤E C A S N 3 - G形操作部エラー表示

現象	表示	内容	原因	対策
故障表示灯が点灯する ※3 Eリレーが動作する	OL	過負荷	ポンプ又はモータの不良	ポンプまたはモータを点検・修理・交換
			電源電圧降下の発生	電源電圧を点検
	PF	欠相	電源の欠相	電源ケーブルを点検・修理・交換
			ケーブルの断線・端子のゆるみ	ケーブルを点検・修理・交換
			電源電圧の不平衡の発生	電源電圧を点検
	rEV	反相	電磁接触器の接点荒れ	電磁接触器の点検・交換
			電源の反相	R S Tの任意の2本を入れ替える
			圧力タンク空気量不足	圧力タンクの点検・修理・交換
渴水表示灯が点灯する	CHA	使用頻度過多	井戸水中電極の上下誤結線	井戸電極配線の点検・修理
			受水槽電極ON/OFF誤結線	受水槽電極配線の点検・修理
			井戸が渴水になっている	井戸水位の回復を待つ 手動復帰の場合は井戸水位の回復後にリセットボタンを押してください

(2) 降雪センサー制御部のエラー表示

表示	状態	原因
E1	温度センサー異常	外来ノイズによる一時的な異常、温度センサーの故障、接続ケーブルの接続不良、接続ケーブルの断線等
E2	光電センサー異常	降雪センサーの前方に障害物がある、 降雪センサーの検出窓に異物が付着している 光電センサーの故障

- ①E 1 エラー表示から10分後に、故障検出を自動リセットして、リトライ運転を行います。
- ②E 2 エラー表示から1分後に、故障運転検出を自動リセットして、リトライ運転を行います。

11.2 故障かな？と思ったら

異常表示やポンプが運転・停止しない状態を発見したら、下記の表に従って速やかに対処してください。対処後も異常がある場合は、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

(1) E C A S N 3 - G形制御盤

現象	原因	対処
E C A S N 3 - G形操作部にエラーが表示されている	11.1 (1) 参照	11.1 (1) 参照

(2) 降雪センサー制御部

運転モード	現象	原因	対処
降雪運転	「みぞれ」なのにポンプが運転する	降雪温度(F : 01)の値が高い	降雪温度(F : 01)の値を下げる
	まばらな雪でもポンプが運転する	雪片カウント(F : 02)の値が少ない	雪片カウント(F : 02)の値を増やす
	雪が降りだしてからの運転が遅い	計測時間(F : 03)の値が長い	計測時間(F : 03)の値を短くする
	雪が止んでもポンプが停止しない	停止時間(F : 04)の値が長い	停止時間(F : 04)の値を短くする
	光電検出ランプが点灯しない	光電センサーが故障している	降雪センサーを交換する
凍結防止	凍結しているのにポンプが運転しない	運転温度(F : 05)の値が低い	運転温度(F : 05)の値を上げる
	溶けたのにポンプが停止しない	停止温度(F : 06)の値が高い	停止温度(F : 06)の値を下げる
散水運転	温度が高いのに運転しない	運転温度(F : 07)の値が低い	運転温度(F : 07)の値を上げる
	温度が下がったのに停止しない	停止温度(F : 08)の値が高い	停止温度(F : 08)の値を下げる
共通	電源が入っていない	電源がOFFになっている ヒューズが溶断している	電源をONにする ヒューズを交換する
	E 1(温度センサー異常)が表示されている	外来ノイズなどで一時的な異常が発生している 温度センサーの故障 接続ケーブルの接続不良 接続ケーブルの断線	電源をON/OFFする 降雪センサーを交換する 接続ケーブルを差しなおす 接続ケーブルを交換する
	E 2(光電センサー異常)が表示されている	窓部に異物が付着 窓部の正面1m以内に樹木や壁といった障害物がある 光電センサーの故障	異物を取り除く 障害物を取り除く 障害物の無い場所に設置する 降雪センサーを交換する
	強制運転してもポンプが運転しない	制御基板、電磁接触器が故障している サーマルリレーがトリップしている	制御基板、電磁接触器を交換する

※ご照会の際は購入先へ、購入先が分からぬときは下記へご紹介ください。



本 社 〒460-8650 名古屋市中区大須4-11-39

☎052-251-7171 (代)

岡崎工場 〒444-8530 岡崎市橋目町御領田1

☎0564-31-4191 (代)

